



## 新しい牛群検定成績表について（その90）

### ～ 赤ペンコメント乳量編① ～

情報分析センター 首席専門役 相原 光夫

当団では検定成績表への赤ペンコメントを開始しました。検定成績表のどこが良くて悪いのか、分かるようにコメントして欲しいと、従来から多くの検定農家や関係者の方々からのご意見を頂いていたことから開始したものです。現在は、「乳量編」と「体細胞数編」の二編をご利用頂けます。赤ペンコメントは、検定を始めたばかりの方でも分かるように作成していますが、ちょっとしたポイントを今回から紹介して、赤ペンコメントの活用を図って頂きたいと考えています。

なお、赤ペンコメントの記事は、以前にご意見の収集（アンケート）という形で、本紙LIAJNewsで概略を紹介しています。あわせてご覧ください。ご意見は今でも受け付けています。

<http://liaj.lin.gr.jp/> 「牛群検定成績表の見方」で「検索」

- ・ No.198 新しい牛群検定成績表について（その82）  
検定成績表への赤ペンコメント（乳量編）アンケート
- ・ No.199 新しい牛群検定成績表について（その83）  
検定成績表への赤ペンコメント（体細胞数編）アンケート

なお、本号の図表を拡大してご覧になりたい場合もご利用いただけます。

### 1 赤ペンコメントとは

検定農家に毎月郵送させて頂いている検定成績表に赤ペンでコメントしたものです。ご利用頂けるのは「乳量編」と「体細胞数編」の二編になります。そのうち乳量編の見本を図1に示しました。

赤ペンコメントは、検定成績からわかる飼養管理の弱いところを簡易な言葉でメッセージ化してあります。ただし、どうしても帳票という紙面上においては、文字数という制限があります。そのためメッセージで指摘するだけ、という部分も少なくありません。本来であれば、飼養管理の弱いところがあれば、その対策をうって行動することが重要です。地域の農協などの指導的なアドバイスを頂けるのが理想的です。

### 2 赤ペンコメントの閲覧

当団が提供する繁殖台帳Webシステムで閲覧することができます。繁殖台帳Webシステムは検定農家や検定組合などの関係者はどなたでも「無料」で利用出来

ます。IDやパスワードなどは検定組合にお尋ねください。ログインできれば、図2のとおりをクリックするだけです。

### 3 赤ペンコメント乳量編の使い方

#### (1) 今回のポイント（図1①）

赤ペンコメント乳量編にとって最も大事なポイントは、乳量という検定成績を「健康」として捉える点にあります。極めて単純なことですが、飼養管理が良く、牛の健康状態が良好な牛群では高乳量となります。逆に、飼養管理に不備があり、牛の健康状態が損なわれていけば、低乳量となります。牛群の健康状態をみるためには、乳量を真っ先にチェックする必要があります。

図1①の検定成績表1枚目の一番上には「今回のポイント」として、牛群の平均乳量が良いのか、悪いのかを表示しています。高乳量はもちろん良いのですが、例えば日量平均40kg位の高能力であっても、最近3カ月以内で乳量が低下傾向であれば、牛群の元気が低下していると判断され、「高乳量ですが、3カ月

今回のポイント

1 通年的に乳量が低く、今月は年間平均以下です。飼養管理を改善して乳量をアツプしましょう！

2 検定成績表 (牛群成績)

乳代にしろる濃厚飼料費が高額です。利益を圧迫します

Table with columns: 乳量 (kg), 濃厚飼料費 (円/kg), 検定成績 (kg/頭/日)

3 乳量低下の原因と対策

Table with columns: 項目別成績, 原因, 対策

4 乳量低下の原因と対策

Table with columns: 項目別成績, 原因, 対策

5 乳量編

Table with columns: 乳量 (kg), 検定成績 (kg/頭/日)

発行：(一社)家畜改良事業団

連続で乳量が大きく下がっています。乳量は健康のパロメーター、原因を追求しましょう！」と表示されます。仮に、高乳量で安定していれば、「高乳量で大きな変化はありませんが、乳量の下がっている牛等をチェックしましょう！」として、個体毎の健康チェックで足を引っ張る牛を探し出すメッセージが示されます。

図1①の例では、上述のような3カ月ではなく、1年中乳量が低いことにあわせて、更に今回の最新検定の乳量は、年平均を下廻るといふ、極めて残念な結果を示すメッセージとなっています。牛群の健康状態が慢性的に良くないことが推察されます。赤ペンコメントでは、健康状態を悪化させている要因をもろもろの面からメッセージとして示されますので、どの点を飼養管理改善ポイントとするか探求することができます。

## (2) 気象 (図1②)

牛群全体として健康状態を悪化させる要因はいろいろありますが、その中でも気象は全牛に影響する代表格です。特に乳牛は暑さに弱いことが知られており、平均24度を超えると乳量が低下します。それ以外にも、夜間の最低気温が22度以上の場合や、高湿度となるTHI(温湿度指数)が70を超える場合も乳量が低下します。しかし、送風や飲水などの暑熱対策により、乳量低下は押さえられ、健康を維持することも知られています。

図1②の例では、「暑熱ストレスは乳量減少の原因となります。飲水や送風、栄養充足やカルシウム等をチェックしてください。早産にも気をつけて下さい」と、その対処方法までメッセージされます。

なお、牛群検定成績で表示される気象情報は気象庁アメダスと連携したもので、「カウダス」と称しています。気象情報や暑熱対策の詳細は、以下の本誌LIAJNewsバックナンバーをご参照ください。

- ・ No.162 新しい牛群検定成績表について (その46) 気象情報の表示 (平均気温、降水量、日照時間など)
- ・ No.194 新しい牛群検定成績表について (その78) カウダスにTHI指数登場!

## (3) 乳飼比 (図1③)

近年の飼料の高騰は酪農経営を直撃しています。この成績は、健康状態をみるものではなく、乳量低下が経営におよぼす影響をみるものです。牛群検定における乳飼比は、乳代における濃厚飼料の費用の割合を示

し、一般にはこの値が低いほど経営が良好と言えます。図1③の例では、乳飼比26%と高くなっています。乳量が22.6kgしか搾れていませんが、そのうち26%は濃厚飼料に消えていることになり、残り16.7kg(=22.6kg×(1-26%))で粗飼料、電気代、水道代等々を担わないといけないこととなります。全国平均より更に高くなり経営に大きな影響が出ていると判断される場合にこのメッセージが出力されます。

なお、最近ではTMRセンターが飼料を担う事例も増えています。この場合、TMRの代金から粗飼料の費用を減額した単価を検定時に報告しなければならないので注意を要します。

## (4) 搾乳日数 (図1④)

繁殖成績の代表格である分娩間隔には、弱点があります。分娩と分娩の間隔であることから、どちらかというとな産次が一つ前(おおよそ1年前)の繁殖成績になることです。また、受胎せずに当該産次を搾り終えて淘汰された牛を成績として加味されないという弱点

図2

No.	帳票名	ダウロード	計算日(検定)
1	牛群改良情報	表示	2024-02
2	牛群改良情報	表示	2023-11月(1)
3	牛群改良情報	表示	2023-11月
4	授精結果による次世代診断	表示	2024/04/10
5	授精結果による次世代診断	表示	2024/03/05
6	授精結果による次世代診断	表示	2024/02/06
7	授精結果による次世代診断	表示	2024/01/09
8	授精結果による次世代診断	表示	2023/12/13
9	授精結果による次世代診断	表示	2023/11/08
10	授精結果による次世代診断	表示	2023/10/11
11	次世代診断情報(総合診断)	表示	2024-02月
12	次世代診断情報(総合診断)	表示	2023-11月
13	検定成績表(様式A)	表示	2024/04/10
14	検定成績表(様式A)	表示	2024/03/05
15	検定成績表(様式A)	表示	2024/02/06
16	検定成績表(様式A)	表示	2024/01/09
17	検定成績表(様式A)	表示	2023/12/13
18	検定成績表(様式A)	表示	2023/11/08
19	検定成績表(様式A)	表示	2023/10/11
20	検定成績表(様式A)	表示	2023/09/11
21	検定成績表(様式A)	表示	2023/08/17
22	検定成績表(様式A)	表示	2023/07/03
23	検定成績表(様式A)	表示	2023/06/04
24	検定成績表(様式A)	表示	2023/05/04
25	検定成績表(様式A)	表示	2023/04/10
26	検定成績表(様式A)	表示	2023/03/11
27	年間子牛生産状況	表示	2024/04/10
28	年間子牛生産状況	表示	2024/03/05
29	年間子牛生産状況	表示	2024/02/06
30	年間子牛生産状況	表示	2024/01/09
31	年間子牛生産状況	表示	2023/12/13
32	年間子牛生産状況	表示	2023/11/08
33	年間子牛生産状況	表示	2023/10/11
34	繁殖・飼料関連とりまとめ	表示	2023/10/29
35	繁殖・飼料関連とりまとめ	表示	2023/10/31
36	繁殖・飼料関連とりまとめ	表示	2023/12/31
37	繁殖・飼料関連とりまとめ	表示	2023/11/30
38	繁殖・飼料関連とりまとめ	表示	2023/10/31
39	検定成績集計表	表示	2023/12/31
40	検定成績集計表	表示	2023/09/30
41	検定成績集計表	表示	2023/06/30
42	検定成績集計表	表示	2023/03/31
43	赤ペンコメント(体細胞)	表示	2024/04/10
44	赤ペンコメント(乳量)	表示	2024/04/10

も併せ持ちます。その点、搾乳日数は、今現在の産次で、受胎しない牛も含まれています。繁殖成績は乳量に影響します。搾乳日数が大きい場合は、泌乳後期末期の牛が沢山いるということです。泌乳後期末期の牛は、泌乳量は低下していますから、牛群としての低乳量の原因となるわけです。詳細は以下の本誌LIAJNewsバックナンバーをご参照ください。

- ・ No.119 新しい牛群検定成績表について(その5)  
頭数と繁殖成績の見方(牛群構成と分娩  
間隔)

図1④の例では搾乳日数285日と、目標値である160日を大幅に超えていますので、泌乳後期末期の牛も沢山いて、乳量が向上しないことは自明のこととも言え

ます。ただし、現実の牛群検定で目標値160日をクリア出来ている農家は稀であることも事実ですのでメッセージは、大幅に160日を越えたときに表示されます。

赤ペンコメントの大きな特徴を記しておきます。前述のとおり搾乳日数は繁殖成績です。本来、繁殖成績としては、乳量減少などは付随的でいわゆるオマケのようなものです。しかし、赤ペンコメント乳量編では、「搾乳日数が長いと乳量減少の原因になります。繁殖を見直しましょう」と乳量中心のメッセージとしています。次回以降の紹介になるとと思いますが、赤ペンコメント体細胞数編においては、「搾乳日数が長いと乳房炎のリスクが高まります。繁殖を見直しましょう」とメッセージは変化します。それぞれに適した表現を記せるように配慮してあることが大きな特徴です。  
(つづく)

